

配布資料③

平成27年度重点事業・平成28年度重点事業について

生涯学習課

平成27年度重点事業について

・放課後子供教室実施に向けた実験事業「やえっ子ひろば」の展開

放課後の子ども達の安心・安全な拠点づくり、地域の人々との体験交流の場である「放課後子供教室」の導入をめざし、八重原小学校を会場に、実験事業として展開しました。放課後の特別教室を利用し、地域ボランティアの運営により昔遊び、新聞を使った工作、映画上映会などを実施しました。

対象：八重原小学校1年生から3年生までの児童 登録者数：28名

期間：平成27年10月～平成28年2月 計5回

・地域コミュニティ推進事業の展開

青少年は、“地域が育む”との視点に立ち、PTA、自治会をはじめとする地域の多様な機関・団体が集いあう場を提供しました。

青少年健全育成協議会の合同研修会では、昨今の君津市内における青少年の問題行動、特に深夜徘徊等の実情を知りました。

また、「子ども110番の家」協力者は1,314か所（平成27年度6月現在）になり、順調に件数が伸びています。現在は「子ども110番の家」の効果的な設置を目指し、市内配置マップの作成にとりかかっています。

平成28年度重点事業について（現生涯学習課担当事業について）

・社会教育施設の再整備検討

時代を見据えた生涯学習の展開と安全・安心な施設整備をめざし、社会教育施設の効果的な整備について検討委員会を設置。ファシリティマネジメントの視点や学校再編の動向を勘案しながら検討を進めます。

・「地域とともにある学校」づくりの準備

コミュニティ・スクールの早期導入をめざし、具体的な準備を進めます。

・実験事業「やえっ子ひろば」の拡充

「やえっ子広場」の回数拡充と、ボランティアスタッフの拡充に努め、安定的な運営を目指します。

・生涯学習推進計画の見直し

「君津市生涯学習推進プラン」を見直し、時代に沿った生涯学習の推進を図ります。

体育振興課

平成27年度重点事業について

・生涯スポーツの推進

健康で生きがいのある市民生活を目指して、スポーツ・レクリエーション大会を開催しました。事業内容として、グラウンド・ゴルフ大会、スポーツ・レクリエーション祭、中学生野球大会、3×3バスケットボール大会、中学生野球・サッカー教室、ニューイヤーマラソン大会、なわとび大会等を実施しました。その他、夏期ラジオ体操会の実施や学校開放体育施設、スポーツ広場の利便性の向上を図り、各層に対応した多様なスポーツニーズを受け、事業を開催しました。

平成28年度重点事業について

・生涯スポーツの推進

様々なスポーツに親しむ機会を提供するため、市民のスポーツニーズを調査し、市民の体力向上や健康の保持増進を図るためのスポーツ行事の開催を検討していきます。

文化振興課

平成27年度の主な成果について

・漁業資料館の利用者増加

1月末現在での利用者数1,400人となり、平成24年度以来3年ぶりに1,000人を超えました。要因は、展示解説・ノリつけ体験を予約する団体の定着、口コミによる新規利用者の増加があげられます。

・文化財活用事業

市内の文化財を広く市民に周知し、関心を深めるため、出土遺物公開展（見学者1,842人）、小中学生対象の体験学習会（勾玉づくり・ノリつけ体験 夏休み中4回 参加者66人）、文化財講演会（2回 参加者120人）を開催しました。

・スクールミュージアム事業

学校周辺の身近な自然・歴史等について、児童が学び、体験するため、専門家から指導を受ける学習機会を、モデル校3校（坂畑小・小櫃小・八重原小）にて14事業実施しました。

・第8回 きみつ夢未来コンサートの開催

公募による期間限定の合唱団や他団体と連携し、子どもから大人まで楽しめる、市民参加型のコンサートを開催しました。

日 時： 平成28年2月21日（日）午後2時～

会 場： 君津市民文化ホール大ホール

入場者： 797人

平成28年度重点事業について

・文化財の保護と活用

文化財を後世へ継承するため、保管資料の適切な管理、文化財の保存団体等の支援を実施します。また、文化財活用事業をとおして、郷土への愛着心と誇りを養います。

・開発と埋蔵文化財保護の調整

開発により壊されてしまう遺跡の発掘調査を実施し、記録保存を図ります。

・多種多様な文化振興事業の実施

市民文化ホールを活用し、さまざまなジャンルの文化振興事業を実施します。

・市民文化ホールの施設整備

築25年を経過した市民文化ホールを安全・安心に利用いただくために、施設改修等を実施します。

平成27年度重点事業について

・市民ニーズ把握による資料の充実

平成14年度の開館時より同規模自治体内ではトップクラスの貸出数を維持しておりますが、ここ数年減少傾向にあります。利用者アンケートを実施し、市民のニーズを調査し、利用が多く経年劣化の激しい児童書等の基礎的な資料の買い替えや類書による蔵書の再整備、CDやDVDなどの視聴覚資料を集中的に整備し充実を図りました。

・児童奉仕ボランティア育成

子どもの読書推進は図書館事業の中でも特に重要なものです。子どもが本と触れ合う機会を生み出す「ブックスタート」や「読み聞かせ」の新規ボランティアを育成し、活動の強化を目指しました。

・移動図書館「ひまわり号」の巡回

今年度「八重原小学校」への巡回を開始し、計31ステーションとなりました。夏休み期間は学童保育施設への特別巡回を実施しました。

・学校図書館への支援

学校の授業等で利用頻度の高い本をセット化し、団体貸出に要する作業を簡便にしてより効率よく活用できるよう整備しました。

平成28年度重点事業について

・10代の利用者に対するサービスの充実

「ブックスタート」や「ひまわり号の巡回」等により、子どもへの図書館サービス提供は活発に行われていますが、平成28年度は中高生へのサービス強化を目指します。中央図書館の「ティーンズコーナー」の見直しや、中高生向けの資料を充実させ、読書に親しむきっかけをつくりたい。

・レファレンスサービスの充実

図書館の資料を活用して来館者の質問や疑問を調べる「レファレンスサービス」は、資料の貸出と同様に基本的なサービスの1つです。過去のレファレンス記録の蓄積や、パスファインダー（調べ方のガイド）の作成などにより、市民の課題解決を支援します。

平成27年度重点事業について

・ **ミニ鉄道フェスティバル**

子どもの夏休み期間（7/19）に鉄道をテーマにした催しを実施し、約600名が訪れました。様々な年代の方が楽しめるよう「体験ゾーン」では、鉄道模型の展示や体験運転、ペーパークラフト工作などを実施し、「ヒストリーゾーン」では、君津と鉄道の歩みを振り返る展示や市が保有する貴重な鉄道関係資料の展示などを実施しました。

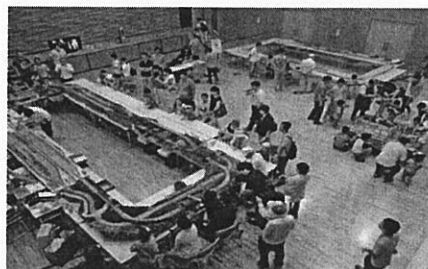
今回は、NHK千葉からの取材もあり催しの様子が「首都圏ニュース」で放送されました。

協力：さざなみ鉄道倶楽部、おもちゃ病院きみつ

（いずれも当館利用団体）、

久留里城址資料館、JR君津駅、

中・高校生ボランティア、障がい者就労施設



・ **世界遺産講座**

「富士山」「富岡製糸場」が世界遺産に登録され、日本国内で大きな話題となったことを受け、日本や世界の誇る「世界遺産」に目を向けながら、上総掘りをはじめとした地元の魅力を再発見する機会にしました。会場は1階のギャラリーで行い、利用者や来館者の目に留まるように務めました。その工夫から何名かの中途参加もあり、会場の工夫による一定の成果が見られました。

期 日：1月12日～3月9日までに全5回

講 師：片岡英夫氏（世界遺産マイスター）

参加者：46名



平成28年度重点事業について（視点について）

・ **新規参加者の増加を見据えた事業の展開**

団塊の世代をはじめとした高齢者が初めて当館に訪れ、生涯学習活動への入口となるような参加しやすい内容の事業を実施します。また、全市を対象にして、気軽に社会問題や時事問題について考えられるような事業を展開していきます。

・ **子育て支援の一層の充実**

当館では、平成23年度まで教育委員会より委嘱されていた子育てサポーター「さぼっと」が活動しており、様々な子育て支援事業を実施しています。

また、当館には、子育て中の親子の室内遊び場「こっこる一む」があることから、子育て拠点施設として一層の整備を進め、子育て支援の充実を図っていきます。

・ **多世代が関わる事業の機会の充実**

ミニ鉄道フェスティバルのような、子どもから大人まで多世代が気軽に参加できるような事業や、世代間で地域活動に取り組んでいけるような機会を作り、多世代交流の機会の充実を図ります。

平成27年度重点事業について

・企画展「石川徳治の集めた一世紀」の開催

市内在住の歴史資料収集家石川徳治氏（98歳）が保有してきた古写真や戦争資料などを通し、戦前・戦中・復興を経て現在に至る一人の君津市民の一世紀をふり返りました。会期中には、展示のほかにも関連する講演会や見学会を催し、理解を深めました。

開催期間：平成27年10月14日（水）～12月6日（日）【開館日数46日】

入館者数：6,163人（1日平均約134人）

講演会 平成27年11月1日（日）「第二海軍航空廠から見た地域と戦争」参加者26人

関連講座（見学会①）平成27年11月14日（土）「第二海軍航空廠の跡を廻る」参加者18人
（見学会②）平成27年12月6日（日）「小櫃の製糸工場跡を歩く」参加者21人

・ミニ企画の実施

新たに館へ寄贈された資料や、地域の新出資料について紹介するミニ企画を実施し、市の歴史や文化への関心を高めてもらうようつとめました。

テーマ「太田家の建築と節句飾り」（H27.4/18～5/31）

テーマ「回顧 昭和廿年～木更津高女生の描いた昭和二十年～」（H27.8/8～12/6）

テーマ「傷痕軍人会会旗」（H27.10/3～10/30）

テーマ「発見！伊八のうさぎ展」（H27.10/31～H28.1/24）

関連講座「初代伊八と新資料《波に兎》～西上総での伊八～」（H27.12/5）参加者63人

平成28年度重点事業について

・社会教育施設の再整備

当館の運営に対し、指定管理者制度の導入を含めた見直しを迫られていることから、この制度が館に及ぼすメリット・デメリットを調査し、他の社会教育施設とともに検討委員会を設置し、運営方法について検討していきます。

・博物館法にもとづく資料館運営と事業の展開

- （1）久留里城及び市内の文化遺産について、来館者の興味や関心を喚起する展示・解説につとめ、社会教育や学校教育との連携をはかり、新たな学びの環境を整えます。
- （2）博物館の根幹的業務である資料の「収集・保存」「調査研究」を基礎的活動とし、活用のための展示活動・教育普及事業・情報提供等の内容充実につとめます。
- （3）博物館・教育機関としての活動を強化するとともに、観光・商業を含めた地域のまちづくりとの連携にも配慮し、累計入館者数90万人の突破をめざします。